

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成27年3月)

平成27年3月12日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	停止中 第16回定期検査中 定検停止期間:H23.8.6~	第15回 H19.5.4~H22.8.4 停止期間 H19.5.4~ H22.6.6 (1130日) (原子炉起動H22.5.31)	第16回定期検査による停止												
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	停止中 第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3~H18.5.9 停止期間 H17.9.3~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定期検査による停止												
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12~H18.9.15 停止期間 H18.5.12~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定期検査による停止												
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9~H19.1.11 停止期間 H18.4.9~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定期検査による停止												
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	停止中 第13回定期検査中 定検停止期間:H24.1.25~	第12回 H18.11.24~H23.2.18 停止期間 H18.11.24~ H22.11.25 (1463日) (原子炉起動H22.11.18)	第13回定期検査による停止												
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:H24.3.26~	第9回 H22.10.31~H23.3.9 停止期間 H22.10.31~ H23.1.26 (88日) (原子炉起動H23.1.23)	第10回定期検査による停止												
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:H23.8.23~	第9回 H22.4.18~H22.7.23 停止期間 H22.4.18~ H22.6.28 (72日) (原子炉起動H22.6.26)	第10回定期検査による停止												

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (2月末現在)

2月	0.0%
26年度累計	0.0%
運転開始後累計	54.9%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (2月末現在)

2月	0
26年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

④ ドラム缶発生量(本) (H26年度第3四半期)

当期発生本数	904
貯蔵庫累積貯蔵本数	31,411
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H26年度第3四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,734
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 従業員登録データ(人) (3月2日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	828	2,359	55%
	刈羽村	90	185	5%
	その他	114	1,029	20%
	小計	1,032	3,573	80%
県外		93	1,073	20%
合計		1,125	4,646 (3,744*)	-
		5,771		100%
協力企業社数(社)		784		

※ 3月2日の協力企業構内入構者数

⑦ 来客情報(人) (2月末現在)

	2月	年度累計
地元	577	8,601
県内	336	6,966
県外	320	9,141
国外	24	179
合計	1,257	24,887

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
3月26日	定例の記者説明会
4月9日	次回定例所長会見

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）

平成27年3月12日

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	平成26年 10月8日	5号機	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の 不具合について（区分Ⅲ）	<p>（発生状況） 平成26年10月8日午前10時35分頃、定期検査中の5号機において、高圧炉心スプレイディーゼル補機冷却海水系の点検に伴い不待機状態としていた高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機について、同海水系の点検終了に伴う試運転のため起動操作を行ったところ、当該ディーゼル発電機が起動しないことを確認しました。</p> <p>（安全性、外部への影響） 5号機用として別の2台の非常用ディーゼル発電機が待機状態であり、プラントの安全上の問題はありません。今回の不具合による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） 原因調査の結果、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の起動・停止回路に使用している継電器が長期の使用により、内部部品の摩擦抵抗増加や、継電器の接点の接触抵抗が増加したことにより、起動回路が成立しなかったものと推定いたしました。</p> <p><u>当該継電器については、新品に交換し、動作に問題がないことを確認しました。</u></p> <p><u>再発防止対策として、当該継電器についてはこれまで計画的に交換することとしていましたが、それよりも早く不具合が確認されたことから、今後、交換周期を適正となる25年までを目安に定め、適切に管理していくこととしました。</u></p>